

## 構成機関からの意見照会事項の取りまとめ結果

**(意見照会事項1) 高等学校での就職支援  
(おびひろ若者サポートステーション/サポステ・プラス)**

現在、教育現場で就職に関するなど、どのような取り組みをされているのか、卒業された生徒からの相談があるのか、お答えできる範囲で教えてください。

**(回答) 北海道教育庁学校教育局高校教育課**

各学校では、就職希望者に対して、求人票の紹介や受験先の相談、履歴書の添削、応募前職場見学の調整、面接練習などの試験対策を実施するなど、就職希望者が内定を得られるよう支援しています。  
また、なかなか内定が得られない生徒や支援が必要な生徒に対しては、ハローワークや若者サポートステーションなどと、卒業後も継続した支援ができるよう連携し、関係機関の活用を生徒に促しています。  
卒業した生徒が、学校に相談に来ることもありますが、相談内容を聞き、必要に応じて関係機関とつないでいます。

**(回答) 北海道立精神保健福祉センター**

高校を卒業して就職したところ仕事や人間関係が上手くいかず、発達障害の精査等を希望して受診される方がいます。(家族や上司が同伴される場合もあります。)  
就労が上手くいかない背景にあるメンタルヘルスの問題をアセスメントし、必要に応じて利用可能なサービス等の情報提供や関係機関へのつなぎを行っています。

**(回答) 高齢・障害・求職者雇用支援機構**

高等学校の就職支援に該当するものではありませんが、当施設で実施している求職者支援訓練は、学卒未就職者も受講対象者となっております。  
離職者訓練(施設内訓練)は、離転職者を主な対象者としておりますが、学卒未就職者であってもハローワークの受講あっせんがあれば訓練を受講することができます。  
就職支援については、キャリアコンサルティングや就職意欲を醸成させる支援、関連職種の求人情報の提供など、受講者に合わせた、きめ細やかな支援を行っています。  
なお、未就職の修了者に対しても就職支援としてフォローアップを継続的に実施しています。

**(回答) とまこまい若者サポートステーション/サポステ・プラス**

苫小牧市内の定時制高校にて、セミナーやグループワークなどを月1回実施しています。退学後の生徒に関する就職相談のリファーマーがあるケースもあります

**(回答) オホーツク若者サポートステーション**

- 管内の各高校への訪問を行っています。
- 北見北斗高校定時制、網走南ヶ丘高校定時制において、就活講話としてサポステ説明会を行っています。
- 高校を訪問した折、担当の先生から、「卒業生で帰ってきた生徒からの相談は、あまりない。その友達からの情報で、こちらから連絡を取ることがある」という話を複数お聞きしました。

(意見照会事項2) 北海道立精神保健福祉センターの「青年期親の会」について  
(北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課)

- ・「青年期親の会」において、中学生、高校生の親の参加はあるのでしょうか。
- ・中高生の親も参加しているのであれば、本事業の活動状況も伺いたい。

(回答) 北海道立精神保健福祉センター

「青年期親の会」について、これまで 中高生の親の参加は ありません。

(意見照会事項3) 子ども家庭支援課における「ふれあい心の友訪問等援助事業」について  
(北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課)

- ・道内8児童相談所における不登校児童生徒へ大学生等(メンタルフレンド)の家庭への派遣実績及び成果・課題について伺いたい。なお、その際、不登校になったきっかけなどを把握することはあるのでしょうか。

(回答) 北海道保健福祉部子ども政策局子ども家庭支援課

- (実績)
- ・R2~R4の派遣実績はゼロ(コロナ禍の影響もあり)。
- (成果)
- ・実績に伴い、なし。
- (課題)
- ・事業開始当初と比較すると、地域の社会資源(適応指導教室等)の充実に伴い、本事業の活用が減少。
- ・コロナ禍の影響もあり、メンタルフレンド登録者が減少。
- ・家庭の状況が複雑化しており、本事業の活用が難しいケースが増加傾向にある。
- ・対象の子どもが発達障害を抱えている等、メンタルフレンドでの対応が難しいケースが多くなっている。
- メンタルフレンドが、不登校になったきっかけ等を把握することはある。